

妙法華寺便り

令和6年11月号



和尚さんのよろず話

今年の10月、11月は選挙一色でした。10月に衆議院議員総選挙、岡山では県知事選挙、11月にアメリカで大統領選挙が行われました。皆さんは投票に行かれましたか？

ところで、日本では選挙はいつから始まったのでしょうか。資料によると、大政奉還以後の明治政府による政治は藩閥政治といって、薩長土肥などの有力藩出身の有識者たちが集まって政治を執り行っていました。海外視察などを繰り返した明治政府は、憲法をつくり近代的な国家にならなければ、世界の国々と渡り合えないことを痛感し、近代化を推し進める中で、「国民が政治に参加する」という今まで日本にはなかった考えが広まります。そして、「官僚による政治ではなく、国民によって選ばれた議員が政治を行う」必要性を訴える「自由民権運動」が全国各地で盛り上がりました。

これを受け、明治政府は議会の開設を決定し大日本帝国憲法のもと、国会の仕組みが作られました。当初の国会は衆議院と貴族院の二院制で、衆議院議員の選挙に限り国民の参政権が認められます。

1890年に初めての国政選挙が行われました。当時の選挙権は「15円以上の直接税を納めている25歳以上の男子」のみに与えられ、この選挙で投票できたとされる有権者数は全人口のわずか1%ほどです。戦後になって20歳以上の国民が選挙権を有する事となり、全人口の約48%が有権者となりました。現在のように多くの人々が政治に参加できるようになったのは、日本の長い歴史から見ると最近の事です。

さて、10月・11月は日蓮宗各寺院で日蓮聖人の御会式を執り行います。その中で「にょにちがっこうみょう如日月光明 のうじよしよゆうみょう能除諸幽冥 しにんぎょうせけん斯人行世間 のうめつしゅじょうあん能滅衆生闇 にちげつげの日月偈を唱えます。読みは、にちがつ「日月の光明の能くもろもろの幽冥を除くがごとく、この人世間に行じてよく衆生の闇を滅す。」意味は「太陽や月の光が暗い所を除くがごとく、法華経の行者が各々の生活の場で人々の闇を照らす。自分の心を穏やかにし、周りの人の心をも穏やかにする。」ということです。



政治家の方は国民の生活を守る大きな使命を持たれていると思います。是非思いやりをもって私たちの生活を豊かにする為に尽力して頂きたいものです。

また、私たちも家庭内で、地域で、社会で、学校や会社など、いろいろなコミュニティで、自分自身

はもちろん、周りの人の心を穏やかに出来るように心がけたいですね。

◇ 行事報告 ◇

10月18日（金）摩利支天月例祭執行

本堂での読誦会に引き続き摩利支天堂にて家内安全・身体健全などのご祈念をさせていただきました。



11月6日（水）宗務所主催グランドゴルフ大会

今年も宗務所主催の大会は、人数を制限して、午前・午後に別れて開催されました。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

12月18日（水）午前10時より執行いたします。本年最後のお祭りです。どうぞご参加下さい。新年は1月18日（土）午前10時より執行いたします。

除夜の鐘

1月1日（水）午前零時を合図に、お寺の鐘108回撞きます。

除夜の鐘は、新年を迎え、まず最初に今までの罪障消滅祈念し、清らかな気持ちで新年を迎える為のものです。是非ご参加ください。

集合時間は、31日午後11：50分です。

◇ お知らせ ◇

年回忌のおしらせ

令和7年の年回忌の案内を該当する方のみ、別紙「年回忌のお知らせ」を送付いたしますので、同封のハガキにてご回答下さいますようお願いいたします。なお、前倒しにて既に年回忌供養をされておられる霊位につきましてもお知らせしておりますので、ご了承下さい。

開運星祭（厄除け祈願）

2月4日（火）午前10時より本堂にて執行いたします。

同封の「開運星祭受付のご案内」をご覧ください、是非、お申し込みください。

なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方は、後日、お送りいたします。

合 掌